

臨床発達心理士：
キャリアラダー
【1版】(2024.9.1)

※臨床発達心理士の理念：発達の観点に基づき人の健やかな育ちや生活を支援する

	S1 1～5年	S2 5～10年	S3 10～15年	S4 16年以上
目標概観 (Goal overview)	<p>★臨床発達心理士の役割と実践のあり方の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨床発達心理士の基盤となる事項等 発達や発達心理学の基盤となる事項等 発達アセスメントの知識・理解、及び活用に関わる事項 (ライフステージや発達課題を踏まえる) 基礎的な関連法規等の理解 	<p>★自己の専門性の確立と新規資格取得者に対して、S1に関わる助言・指導ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨床発達心理士の基盤を踏まえた事項等 発達や発達心理学の基盤を踏まえた事項等 発達アセスメントの知識・理解、及び活用の洗練に関わる事項 (ライフステージや発達課題を踏まえる) 関連法規等の理解、及び変化への対応 	<p>★専門性の展開とS1/S2に関わる助言・指導ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨床発達心理士の知見の蓄積に関わる事項 ケースや社会的状況に応じた対応に関わる事項 発達アセスメントの知識・理解、及び活用の推進・伝達に関わる事項 (ライフステージや発達課題を踏まえる) チームづくりや人材育成の寄与に関わる事項 	<p>★臨床発達心理士やその活動を支える環境づくり・組織作りに寄与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 職能団体づくりに関わる事項 人材育成に関わる事項 新法・法改正への提言に対する事項 社会的要請に関わる事項

<p><具体的事項> 臨床発達心理士として身に付けたい 専門性</p>	<p>倫理の理解① (役割と任務の理解と遂行)</p> <ul style="list-style-type: none"> 倫理綱領における臨床発達心理士の役割と実践のあり方の理解 知財と個人情報保護 	<p>倫理の理解② (知見の蓄積と推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> 倫理綱領を踏まえた臨床発達心理士の役割と実践の遂行 研究倫理の理解と研究の取り組み 	<p>倫理の理解③ (更なる知見の蓄積と推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> 倫理と実際の伝承、人材育成に寄与 	<p>倫理の理解④ (一般化と高度な知見の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> 職能団体に関わる人材育成に寄与
	<p>関係法規の理解① (支援の基盤となる法令の理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> 職域に応じた基盤と基本の理解 キャリアに応じた理解 	<p>関係法規の理解② (支援に関わる法令の理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> 職域に応じた隣接領域の法令の理解 キャリアに応じた新法・改正法の理解 	<p>関係法規の理解③ (支援に関わる法令の改善への視点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新法・法改正に対する提案 	<p>関係法規の理解④ (支援に関わる法令の改正への取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新法・法改正に対する提言
	<p>専門性の理解① (支援の基本となる理論やアプローチの理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> 発達心理学の歴史と理論 ※発達の法則性・順序性・時間軸に関する理解 ※認知行動療法、関係論的アプローチ、生態学的視点 (生物・心理・社会的モデル) の理解 発達の実践の理解 (個別性・多様性の理解、時間軸と多様性) 発達アセスメント (検査) の方法修得、それに基づく支援目標の検討と支援のあり方の理解 基礎的な調査・統計の知識 	<p>専門性の理解② (支援の基本となる理論やアプローチの洗練)</p> <ul style="list-style-type: none"> ケースを通じた発達の (個別性と共通性の) 理解 ケースに応じた"支援計画と支援"の理解と推進 ※各理論・アプローチ方法の洗練 ※PDCAサイクルを踏まえたアプローチ 発達アセスメント (検査) の方法修得、それに基づく支援目標の検討と支援のあり方の理解 データの扱い方、グラフの読み方等の知識 	<p>専門性の理解③ (局面に応じた理論やアプローチの推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> 複雑性/新たな局面に応じた (応用的判断を要する) 発達支援の遂行 複雑性/新たな局面に応じた"支援計画と支援"の理解と推進 上記を踏まえた新たな理論やアプローチの検討 発達アセスメント (検査) 結果に基づく予防的視点や取り組みの推進 発達アセスメントに関する知識・理解の伝達 統計分析/事例検討の調査・分析方法の知識とその報告 	<p>専門性の理解④ (臨床発達心理士のための環境づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各局面に応じた発達支援が遂行できる環境づくり (雇用条件・労働環境等含む) 発達アセスメント (検査) の開発や改良
	<p>専門性の展開① (協同・連携の理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> チーム支援の必要性の理解：チームへの参画とチームにおける課題達成の体験 ※チーム医療、チーム学校、チーム心理士 ※OJTに関わる助言・指導の経験を得る スーパービジョンの必要性の理解 ※スーパービジョンを受けて発達支援の遂行 国際/社会状況の理解 (貧困、孤立、災害、犯罪等) ※SDGs理解等 	<p>専門性の展開② (協同・連携の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> チーム支援のあり方の理解と課題達成の推進 スーパービジョンの基本的な知識・技能の理解 (支持・教育・管理・開発、エンパワメント) 社会状況に応じた支援への取り組み (貧困、孤立、災害、犯罪等) 	<p>専門性の展開③ (協同・連携の組織作り)</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題達成のできるチームづくり ※チームマネジメント、危機管理 スーパービジョンの実践と技能の修得と洗練 社会状況に応じた支援への計画と運用の遂行 (貧困、孤立、災害、犯罪等) 	<p>専門性の展開④ (協同・連携の組織運用)</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題達成を踏まえた組織作り 職能団体における組織形成 ※臨床発達心理士の資質向上の指標や環境構築 スーパーバイザーの養成 社会状況に応じた支援への組織的な計画と運用 (貧困、孤立、災害、犯罪等)